

経済建設常任委員会 質疑

令和 2 年 3 月 11 日

経済建設常任委員会 委員長 柏野 大介 様

委員名	小橋 薫
-----	------

質問内容	<p>資料 NO.1 恵庭市畜産共進会実行委員会の解散について</p> <p>実行委員会の解散については大変残念に思います。道央酪農祭ホルスタイン共進会地区予選会も役目を終了し、今後の市の酪農産業の未来を危惧するものです。そこで、今後の共進会場の利活用はどのような展開を考えているのかお伺いします。又、今後の施設等の維持管理料をどのように考えているのか合わせて伺います。</p>
------	---



経済建設常任委員会 質疑

経済建設常任委員会 委員長 柏野 大介 様

令和2年3月10日

委員名	川原 光男
-----	-------

質問内容	<p>※ 経済部報告 4 花の拠点整備事業について</p> <ul style="list-style-type: none">・有料公園区域について使用料の素案が示されております。・近隣類似施設からの設定金額を参考としたとありますが、同様な規模の類似施設を参考とされた個所名をお伺いします。・また、その類似施設の来場者数と年間収入の実績が分かればお示してください。・個別質疑に於いての答弁では、各施設からの収入は5,172万で支出は7,998万円と予算を示されましたが「優良公園区域」に関わる部分についての予算数字をお示してください。 <p>※ 建設部報告 1 1 民間賃貸住宅の既存借上型市営住宅可能性調査について（中間報告）</p> <ul style="list-style-type: none">・アンケートを取るにより何を見出そうとしているのかその狙いをお聞かせください。・私は、行政の10年間安定をして借上げる契約はオーナーにとっては歓迎する事ではないだろうか？借上げ家賃等条件を明確に提示してからのアンケート徴集、又は、公募となるのではないか？お考えをお伺いします。・決定した場合、既存借上げ型市営住宅についての国からの支援や補助についてどのような内容になるのか？お伺いします。 <p>※ 水道部報告 1 3 「汚泥乾燥施設の整備状況」と「バイオガス発電事業開始」について</p> <ul style="list-style-type: none">・バイオガス発電施設の土地使用料・発電施設の維持管理業務・経常経費負担等人員の配置はどの様に運営されていくのか？市として担う何かがあるのか？お伺いします。・緊急事態によるブラックアウト発生時には、焼却施設など地域へ電源の支援を求める事が出来る契約になっているのか？お伺いします。
------	---



経済建設常任委員会 質疑

令和 2年 3月11日

経済建設常任委員会、委員長 柏野 大介 様

委員名

早坂 貴敏

質問内容

報告No. 2 「中小企業経営改善実態調査の結果について」

①平成26年、28年の発送件数と回収率等、今回の調査と比較してどのようになっているか伺います。

②業況について資料にもあるようにすべての企業で過去二年間の売上げが下降したと回答している企業が最も多い中、これまでの過去の調査に基づいた様々な施策がどれだけ成果を上げられたのか、今一度検証が求められると考えます。コロナウイルスに伴う甚大な影響も含め、今後は更なる抜本的な取り組みが求められているのではないかと考えますがご所見を伺います。

報告No. 6 「令和元年度除排雪の状況報告について」

①今回の資料には除排雪について示されておりましたが、雪堆積場の状況についてどのようになっているか伺います。

②前回の委員会で降雪量の減少に伴う除排雪、雪堆積場に係る最低補償の見直しについて質疑をさせていただきました。最終的には、例年並みの降雪量になったため、最低補償の見直しは行わないという考え方だと思います。しかし、気象環境の変化等により、降雪時期の予測や目途が立たず、今年度は様々な課題や影響があったと思います。しっかりとした検証を踏まえて次年度以降の除雪事業に結び付ける必要があると思いますが、今後の展望に向けてご所見を伺います。



経済建設常任委員会 質疑

令和2年 3月 11日

経済建設常任委員会 委員長 柏野 大介 様

委員名	松島 緑
-----	------

経済部 No.2 中小企業経営改善実態調査結果について

- ・有効発送件数 1481 件、回収件数 371 件、回収率 25.1%とありましたが、無回答だった事業所の要因をどう捉えていますか。
- ・回答の無かった事業所への働きかけはどの様に考えているのかお伺いします。
- ・回答の無い事業所が多い事も有り、この調査は実態調査として適切だったと捉えているのかお伺いします。
- ・業況において過去二年間で、売り上げが下降とありましたが、この間、倒産企業、企業撤退等の影響はどれくらいあったのか、また、その場合、どのような業種なのかお伺いします。
- ・調査結果を踏まえて、市として今後、どのような対応を考えているのかお伺いします。

建設部 No.11 民間賃貸住宅既存借上型市営住宅可能性調査について

- ・調査結果をどの様に捉えているのかお伺いします。
- ・借り上げ住宅の可能性に向けて今後どの様に対応するのかお伺いします。
- ・アンケート調査結果の中でこの制度を行うにあたりオーナーのメリット、デメリットをどう捉えているのかお伺いします。

水道部 No.13 「汚泥環境施設の整備状況」と「バイオガス発電事業開始」について

- ・汚泥環境施設の整備事業状況の具体的内容についてお伺いします。
- ・バイオガス発電事業の具体的内容についてお伺いします。



経済建設常任委員会 質疑

令和2年3月11日

経済建設常任委員会 委員長 様

委員名	柏野 大介
-----	-------

質問内容 <経済部>	資料 No4 花の拠点整備事業費が1億1000万円増額となっている。 内訳は駐車場整備費4400万円、子どもの遊び場2420万円、修景工事費6800万円などだが、その要因について、詳しくお示し願います。 また、関連事業費として示されている道と川の駅改修・外構工事についても1億700万円、松園線交差点改良についても3800万円増額となっている。その要因について伺います。
<建設部>	資料 No6 直営による排雪実績(排雪日数)が例年と比べて大きく減少している中で、委託による排雪日数、排雪時間がH29、30と比較しても増加している要因について伺います。
<水道部>	資料 No12 利用者の利便性の向上は重要なこと。 一方で、域外流出を増加させるようなお金の流れを増やすことは望ましくない。現時点では、キャッシュレスの推進の動きもあり、各社手数料を徴収しないこととしているが、数年後に手数料徴収が始まった時点で、撤退するという判断はできるのか。 アンケートの結果からも、費用対効果の視点は重要。手法を増やしすぎることで、事務コストの増加はどの程度と考えるのか。また、委託業務の委託料の低減につながるものか。 拡充を検討するよりも、試験的な導入として、一定期間後に再検討を行うことが必要ではないか。



<p>質問内容</p> <p><事故報告></p>	<p>2 用途区分の誤りによる個別処理施設使用料の誤賦課</p> <p>原因となっている「家事用」での登録は職員によるものか、委託先によるものか。</p> <p>遡及不可能となった5年以前の金額はいくらか。この金額は結果として、市民への損害なのではないか。</p> <p>委託先が誤登録を行なったことが原因であれば、一定の賠償が必要ではないかと考えるが、どのような検討を行なったのか。</p>
---------------------------------	--